

## 財務諸表に対する注記

### 1 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券……………償却原価法（定額法）によっている。

(2) 固定資産の減価償却の方法

什器備品……………定額法

ソフトウェア……………法人内における利用可能期間（5年）に基づく定額法

(3) 引当金の計上基準

賞与引当金……………職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する金額を計上している。

退職給付引当金……………職員の退職給付の支給に備えるため、期末退職給付の要支給額に相当する金額を計上している。

(4) リース取引の処理方法

所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

(5) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理については、税込方式によっている。

### 2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産	円	円	円	円
現金預金	2,078,406	0	△8,591	2,069,815
投資有価証券	247,921,594	18,920	△10,329	247,930,185
小 計	250,000,000	18,920	△18,920	250,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	6,570,760	1,416,395	0	7,987,155
UNEP支援金引当資産	1,600,000	10,414,000	△1,312,561	10,701,439
小 計	8,170,760	11,830,395	△1,312,561	18,688,594
合 計	258,170,760	11,849,315	△1,331,481	268,688,594

### 3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
基本財産	円	円	円	円
現金預金	2,069,815	(2,069,815)		—
投資有価証券	247,930,185	(247,930,185)		—
小 計	250,000,000	(250,000,000)	(0)	—
特定資産				
退職給付引当資産	7,987,155			(7,987,155)
UNEP支援金引当資産	10,701,439	(10,701,439)		
小 計	18,688,594	(10,701,439)	(0)	(7,987,155)
合 計	268,688,594	(260,701,439)	(0)	(7,987,155)

### 4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	8,165,626 円	6,483,810 円	1,681,816 円
ソフトウェア	156,600 円	135,720 円	20,880 円
合 計	8,322,226 円	6,619,530 円	1,702,696 円

### 5 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

種類及び銘柄	帳簿価額	時 価	評価損益
国債	円	円	円
超長期国債20年第141回	107,885,790	127,062,000	19,176,210
超長期国債20年第148回	20,026,000	23,242,000	3,216,000
超長期国債20年第155回	39,864,300	44,040,000	4,175,700
超長期国債20年第159回	40,000,000	41,612,000	1,612,000
超長期国債20年第170回	40,154,095	38,976,000	△ 1,178,095
合 計	247,930,185	274,932,000	27,001,815

6 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
令和2年度公益財団法人環日本海環境協力センター事業補助金	富山県	円 0	円 66,165,663	円 66,165,663	円 0	—
特殊モニタリング・沿岸環境評価/NO WPAP支援金	国際連合環境計画	1,600,000	10,414,000	1,312,561	10,701,439	指定正味財産
2020年度「海の学び特別サポートプログラム	公益財団法人日本海事科学振興財団船の科学館	0	1,572,682	1,572,682	0	—
合計		1,600,000	78,152,345	69,050,906	10,701,439	

7 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

内容	金額
経常収益への振替額	円
基本財産受取利息	2,904,591
受取UNEP支援金	1,312,561
合計	4,217,152